

Topic 01 成果報告会を開催～2年間の学びを報告～

2月13日(金)に教職大学院での2年間の学びの集大成となる成果報告会を開催しました。緊張の中で、それぞれの取組の成果を、自信をもって報告できていました。2年間の取組の目的や意義を改めて考え直し、成果をより実感することができたようです。今回の学びを、学校現場においてさらに充実させてほしいと思います。なお、過去の修了生の研究報告書は教職大学院ホームページに掲載されています。今年度の研究報告書も3月末に掲載予定ですので、あわせてご一読ください。



【研究報告書 URL】 https://www.educ.kumamoto-u.ac.jp/professional_graduate_school/research_report/



Topic 02 みんなの力でよりよい未来を～Kumamoto Education Week 2026～

1月12日(月)～18日(日)にかけて、今年度もKumamoto Education Week(熊本県教育委員会主催)が開催されました。子どもたちに関わる学校や家庭、地域や企業、行政など、様々な立場の人が有機的につながり、共によりよい社会の実現を目指す「教育エコシステム」としての取組みを学んだり、参加し共にこれからの社会を語り合ったりするなど、みんなの力でつくるイベントです。

熊本大学の関係者も多く出演しており、実施後のアーカイブ動画が特設ホームページ(<https://kumamoto-ew.jp/>)にも掲載されています。教職大学院が主催した以下の企画以外にも素晴らしいイベントが目白押しです。ぜひご覧ください。



くまもとデジタル作品コンテスト

熊本県内の小中学校から150を超える作品を応募いただきました。入賞した16作品はQRコードよりお楽しみいただけます。



若手教師の挑戦！前田康裕先生と語る授業アップデート

当日の授業実践発表やパネルディスカッションの様子は、QRコードより全てご視聴いただけます。

Topic 03 授業紹介

授業のユニバーサルデザイン論

通常の学級において学習面または行動面で著しい困難を示す児童生徒の割合は8.8%であり、これは1つのクラス(35人学級)に換算すると約3人の児童生徒が教育的支援を必要としていることを意味します。初めに「平等」と「公平」の違いを学び、合理的配慮について理解を深めました。そして、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、すべての児童生徒が学びやすい環境を整えることが、これから求められるインクルーシブ教育に繋がることを学びました。授業では、参加者がそれぞれでユニバーサルデザインを意識した授業を紹介しました。専攻する教科だけでなく、得意や不得意なことも異なるため、多角的な視点からの意見は深い学びにつながりました。



PI 小河 佑亮

Topic 04 研究紹介

天明地区における地域資源を活用した「地域とともにある学校づくり」への構想

天明地区の少子高齢化と学校統廃合を背景に、義務教育学校(天明みらい学園)の設立を見据えた「地域とともにある学校づくり」の諸条件や教育的意義を研究しました。総合的な学習の時間を核に、生徒が閉校する校区内の小学校の利活用について、探究活動を構想しました。生徒は地域住民やまちづくりセンター、教育委員会と対話を重ね、行政施策と連動した構想案を作成しました。さらに、行政会議への参加など社会に働きかける実践を通して、生徒が自律的に行動する力(エージェンシー)の発揮に着目し、その促進を図りました。一方、教育エコシステム-学校・地域・行政が有機的につながる仕組み-の構築を目指し、教職員・地域・行政の意識変容を分析しながら、協働が持続する体制を模索しました。



P2 堀尾 綾子